

荒川下流タイムライン（拡大試行版）の運用状況について

平成29年12月20日
荒川下流域を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）
専門部会（第3回）

荒川下流タイムラインの検討経緯

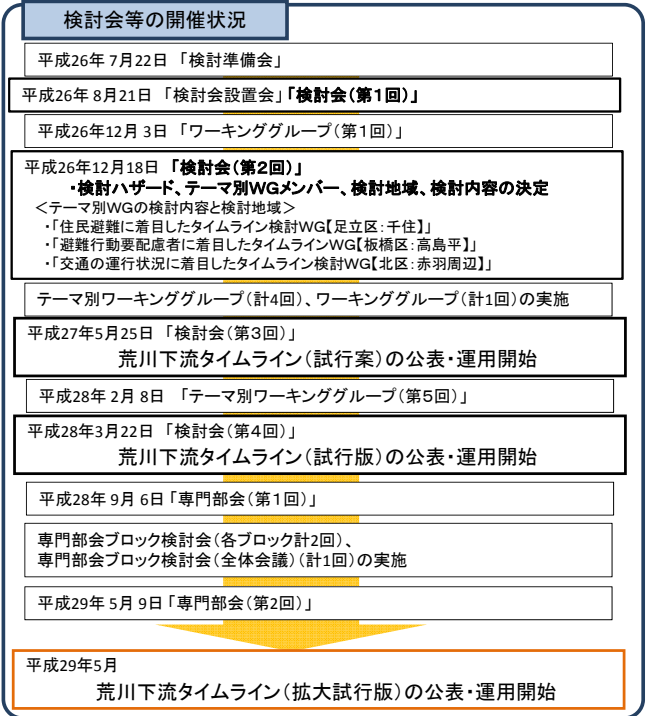
○荒川下流河川事務所は、平成26年に「荒川下流域を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）検討会」を、平成28年に「荒川下流域を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）専門部会」設置し、自治体、鉄道事業者、ライフライン事業者等とともに、タイムラインの策定・改定に向けた検討を実施。
○平成27年5月にタイムライン試行案を、平成28年3月にタイムライン試行版を作成し運用開始。
○平成28年度は検討対象を16市区に拡大しブロック毎のタイムライン試行版の検討開始。平成29年度出水期においてタイムライン拡大試行版を運用。

1. 想定ハザード
・平成19年9月台風第9号の降水量を約2倍に引き伸ばした想定最大規模降雨によるはん濫を想定。風速も台風9号（平成19年9月）実績を想定。

2. タイムライン策定の目標
<災害時の役割> ・災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
・災害時の判断をサポート
<平常時の役割> ・現状が明確になり、課題を抽出
・地域をつなぐコミュニケーションツール

3. これまでの検討状況
【平成27年度まで】
・3つのWG（住民、避難行動要配慮者、交通）を立ち上げ、具体的な検討を実施
・タイムライン試行版に基づき、図上訓練や実践で検証
・検証結果を踏まえ、タイムライン試行版を見直し
【平成28年度まで】
・専門部会、専門部会ブロック検討会の開催
・16市区を4つのブロックに分割し、ブロック毎のタイムライン検討
・平成28年3月公表の試行版の運用と運用等を踏まえた見直し

5. 平成29年度の検討状況
・タイムライン拡大試行版の運用（H29年11月末時点で台風5、18、21、22号の4回適用）
・タイムライン拡大試行版の運用結果等を踏まえたふり返し・見直し



検討対象地域と検討体制

○特性が類似する4つのブロックごとにタイムライン検討

荒川下流部の関係16市区全てを対象としたタイムライン拡大試行版の策定にあたっては、地域特性や氾濫特性が類似する4つのブロックに分けて検討を実施

検討対象地域とブロック分け



検討体制

- A**: 川口市、蕨市、戸田市
- B**: 墨田区、江東区、足立区(荒川左岸)、葛飾区、江戸川区
- C**: 北区、板橋区、足立区(荒川右岸)
- D**: 千代田区、中央区、港区、文京区、台東区、荒川区



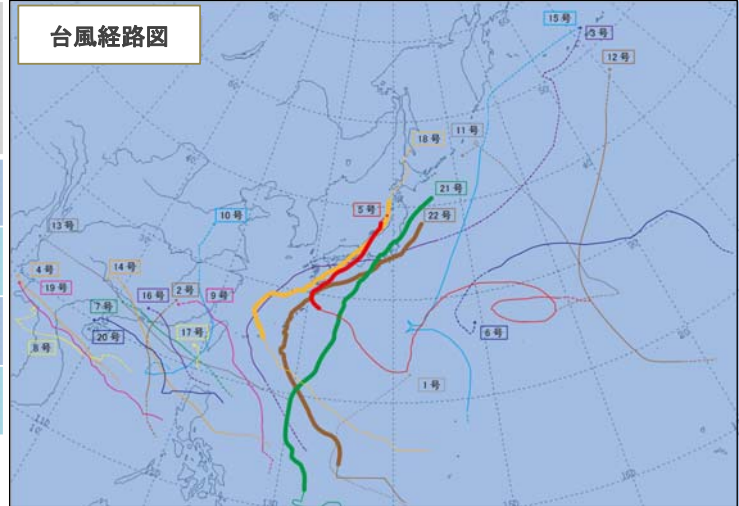
荒川下流タイムライン（拡大試行版）のイメージ

レベル・目安の時刻設定	気象情報等	荒川下流河川事務所	市区 (千代田区・中央区・港区・文京区・台東区・墨田区・江東区・北区・荒川区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区・川口市・蕨市・戸田市)	東京都・埼玉県・警視庁・埼玉県警・東京消防庁	交通事業者 ライオン事業者
台風発生 レベル1-1 (5日前)	○台風・気象情報の発表	○TL運用体制の構築 ○外部への広報 (HP等) ○河川管理施設の点検 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築
(3日前)	○台風・気象情報の発表	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供 ○資機材の準備 ○河川区域内の状況確認	○資機材の確認・準備 ○広域避難の検討、自主広域避難の呼掛け (江東5区) ○福祉施設等の避難支援関係者との調整 (板橋区)	○資機材の準備	○資機材の確認・準備
(2日前)	○大雨・洪水注意報 (埼玉、東京) ○強風注意報 (埼玉) ○強風・波浪注意報 (東京)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供	○広域避難先の調整 (江東5区、台東・荒川区) ○休校・休園の検討 ○福祉施設等の避難支援の準備 (板橋区)	○交通関連情報の収集・確認	○公共交通機関の運転規制 (風速が規定値を超えた場合)
レベル1-2 (30時間前)	○水防団待機水位 (岩淵水門上) ○大雨・洪水警報 (埼玉、東京) ○暴風警報 (埼玉) ○暴風・波浪警報 (東京) ○記録的短時間大雨情報 (埼玉)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供 ○今後の人員の再確認 ○岩淵水門閉鎖操作に係る行動	○広域避難勧告 (江東5区) ○区外含む高台へ自主避難を呼掛け (荒川区) ○休校・休園の決定・伝達 ○公共交通機関の運行状況等の確認・周知 ○地下街等への情報提供 ○家屋倒壊危険ゾーンへの注意喚起 ○福祉施設等の避難支援の実施 (板橋区)	○今後の人員の再確認	○今後の人員の再確認 ○運行状況の共有
レベル2 (11時間前)	○はん濫注意情報 (岩淵水門上) ○記録的短時間大雨情報 (東京) ○大雨特別警報 (埼玉、東京)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○交通規制情報の収集 ○洪水予報の伝達	○交通規制情報の収集	○避難状況の把握 ○交通規制情報の収集	○駅構内の商業施設管理者へ情報提供 ○鉄道の運行継続及び停止に関する連携 ○交通規制情報の収集
レベル3 (3時間前)	○はん濫警戒情報 (岩淵水門上)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○避難指示緊急 (沿川区域) ○避難勧告沿川区域 ○避難勧告非沿川区域 ○避難指示緊急 (沿川区域) ○避難指示緊急 (非沿川区域)	○状況に応じた交通規制の実施	○地下施設へ避難情報の伝達
レベル4 (0時間前)	○はん濫危険情報 (岩淵水門上)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○浸水想定区域内住民等への垂直避難の呼掛け ○職員の安全確保、避難	○排水機場の運転停止 ○危険箇所からの退避	○危険箇所からの退避
レベル5 氾濫発生	○はん濫発生情報	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン ○応急・復旧対策の検討・実施	○はん濫情報提供 ○広域支援・連携の要請 ○応急対策 ○長期避難者支援対策	○応急対策	○応急対策

平成29年度出水期における T L 適用状況

平成29年5月に荒川下流タイムライン(拡大試行版)を運用開始以降、日本周辺に接近した25個の台風の内、
⇒4個の台風でタイムラインを適用
(その他、2個の台風では今後の台風情報に注意喚起しつつ、適用しない旨を通知)

台風名	荒川下流タイムライン適用期間(適用日数)	適用終了時のTLレベル(目安の時刻)
第5号	8月4日(金)~8月8日(火) (5日間)	1-1 (-48H)
第18号	9月13日(水)~9月18日(月・祝) (6日間)	1-1 (-48H)
第21号	10月18日(水)~10月23日(月) (6日間)	1-2 (-30H)
第22号	10月25日(水)~10月30日(月) (6日間)	1-1 (-48H)



※過去のタイムライン適用回数
平成27年：8回(最も進んだTL時刻-72H)
平成28年：7回(最も進んだTL時刻-48H)

凡例：太線はTL適用期間
※11月末現在

平成29年度出水期における T L 適用状況

○台風第21号はレベル1-2(-30時間)まで時刻を進めた

台風第3号	メールにて、台風第3号は、TL適用しない旨を関係機関へ周知	最も進んだTL時刻
7/3(月) 14:27	メールにて、台風第3号は、TL適用しない旨を関係機関へ周知	-
台風第5号		
8/4(金) 10:02	メールにて、TL適用開始、8/4 10時のTL設定上のレベルは1-1(-120H)の旨を関係機関へ周知	
8/5(土) 10:53	メールにて、8/5 10時のTL設定上のレベルは1-1(-96H)の旨を関係機関へ周知	
8/6(日) 10:35	メールにて、8/6 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	レベル1-1(-48H)
8/7(月) 10:52	メールにて、8/7 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	
8/8(火) 11:12	メールにて、8/8 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	
8/8(火) 13:01	メールにて、TL適用終了の旨を関係機関へ周知(→適用終了時8/8 12:00のTL設定上のレベルは1-1(-48H))	
台風第15号		
8/30(水) 10:19	メールにて、現段階ではTL適用の可能性が低い旨を関係機関へ周知	
8/31(木) 10:11	事務局(荒下)から埼玉県南部にて9月1日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性を周知	
9/1(金) 10:15	事務局(荒下)から埼玉県南部にて9月2日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性を周知	
9/1(金) 16:00	事務局(荒下)から朝送った台風進路予報に大きな変化が無い限り、土・日の情報提供は行わない旨を周知	
台風第18号		
9/13(水) 10:18	メールにて、TL適用開始、9/13 10時のTL設定上のレベルは1-1(-120H)の旨を関係機関へ周知	
9/14(木) 10:22	メールにて、9/14 10時のTL設定上のレベルは1-1(-96H)の旨を関係機関へ周知	
9/15(金) 10:01	メールにて、9/15 10時のTL設定上のレベルは1-1(-72H)の旨を関係機関へ周知	
9/15(金) 16:03	事務局(気象庁)から台風第18号の概要及び大雨の見通しについて周知	レベル1-1(-48H)
9/16(土) 10:02	メールにて、9/16 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	
9/17(日) 10:11	メールにて、9/17 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	
9/17(日) 16:12	事務局(荒下)から事務局は注意体制に入った旨周知	
9/18(月) 8:12	メールにて、TL適用終了の旨を関係機関へ周知(→適用終了時9/18 8:00のTL設定上のレベルは1-1(-48H))	
台風第21号		
10/18(水) 10:02	メールにて、TL適用開始、10/18 10時のTL設定上のレベルは1-1(-120H)の旨を関係機関へ周知	
10/19(木) 10:27	メールにて、10/19 10時のTL設定上のレベルは1-1(-120H)の旨を関係機関へ周知	
10/20(金) 9:54	メールにて、10/20 10時のTL設定上のレベルは1-1(-72H)の旨を関係機関へ周知	
10/21(土) 10:38	メールにて、10/21 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	レベル1-2(-30H)
10/22(日) 10:55	メールにて、10/22 10時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	
10/22(日) 14:08	事務局(荒下)から事務局は注意体制に入った旨周知	
10/23(月) 4:01	メールにて、10/23 3時30分のTL設定上のレベルは1-2(-30H)の旨を関係機関へ周知	
10/23(月) 18:04	メールにて、TL適用終了の旨を関係機関へ周知(→適用終了時10/23 17:30のTL設定上のレベルは1-2(-30H))	
台風第22号		
10/25(水) 11:07	メールにて、TL適用開始、10/25 11時のTL設定上のレベルは1-1(-120H)の旨を関係機関へ周知	
10/26(木) 10:15	メールにて、10/26 10時のTL設定上のレベルは1-1(-96H)の旨を関係機関へ周知	
10/27(金) 11:09	メールにて、10/27 11時のTL設定上のレベルは1-1(-72H)の旨を関係機関へ周知	
10/28(土) 11:06	メールにて、10/28 11時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	レベル1-1(-48H)
10/29(日) 11:15	メールにて、10/29 11時のTL設定上のレベルは1-1(-48H)の旨を関係機関へ周知	
10/29(日) 16:14	事務局(荒下)から事務局は注意体制に入った旨周知	
10/30(月) 9:56	メールにて、TL適用終了の旨を関係機関へ周知(→適用終了時10/30 9:30のTL設定上のレベルは1-1(-48H))	

関係機関へ周知
情報提供

※台風第3号、15号は注意喚起(情報提供)のみ実施

荒川下流河川事務所におけるTL運用状況

○荒川下流河川事務所では事務所版のタイムラインに沿った行動を実施

台風第21号でのタイムライン適用時の荒川下流河川事務所の対応状況
荒川下流タイムライン(拡大試行版)より荒川下流河川事務所の行動項目を抜粋

-96H 台風による日本への影響の可能性 10/18 10:00~ (-120H)	21	荒川下流TL運用	荒川下流TLの時刻と対応状況の共有
	25	氾濫発生に備えた対策	被害規模の想定(確認)
	26	台風情報の発表と収集・確認(日本への影響の可能性等)	台風情報および気象情報の発表、収集・確認
	27	体制の構築・確認	体制の構築・確認
	28	-1 河川関連施設の巡視・点検	河川管理施設の点検等
	-5		河川敷での事前周知注意喚起等
-72H 台風による首都圏への影響の可能性 10/20 10:00~	29	-1 災害対応に係る事項の事前確認・準備	災害対策用資機材、復旧用資機材の確認 災害対応に係る事項の事前確認・準備
	23	荒川下流TL運用	荒川下流TLの時刻と対応状況の共有
	27	台風情報の発表と収集・確認(首都圏への影響の可能性等)	台風情報および気象情報の発表、収集・確認
	29		今後の人員配置の確認
	32		今後の応援体制等の確認
	35		体制の構築・確認
	36		施設・危険箇所の点検
	37		土のう等止水・防水資機材等の準備
	38		福祉施設からの避難の必要性検討のための情報収集
	39		台風情報および気象情報の収集(通所・入所施設共通)
-48H 台風の首都圏への接近 10/21 10:00~	40	荒川下流TL運用	荒川下流TLの時刻と対応状況の共有
	44		台風情報および気象情報の発表、収集・確認
	45		台風・気象情報の発表と収集・確認及び雨量・河川水位の収集・確認
	46		流域全体の水文(雨量・河川水位)観測所情報の提供・収集・確認
	48		施設・危険箇所の点検
	49		危険箇所の点検
			災害対応に係る事項の事前確認・準備

機械設備動作確認(岩淵水門)



河川敷での事前注意喚起



備蓄資材の現地確認



職員による河川巡視

